

# 令和5年度都市科学部 【学部共通】 新入生オリエンテーション

令和5年4月3日





# 目次

- (1) 配布資料確認
- (2) 履修に関する資料
- (3) 卒業に必要な単位を確認しよう
- (4) 全学教育科目履修上の注意
- (5) 学部共通科目（基幹知科目）
- (6) 時間割の組み方



## 目次 つづき

( 7 ) 授業支援システムと  
学務情報システム

( 8 ) 授業支援システムで  
仮登録をする

( 9 ) 学務情報システムで  
履修登録をする

( 1 0 ) 全般的な留意事項

( 1 1 ) その他

( 1 2 ) 問い合わせ

# (1) 配付資料の確認

## ▶ 都市科学部ウェブサイトの

### 「令和 5 年度都市科学部オリエンテーション資料」











ページから各自ダウンロードして閲覧してください。

「令和 5 年度都市科学部オリエンテーション資料」ページ

<https://www.cus.ynu.ac.jp/education/orientation/index.html>

#### 春学期 1年生資料

学生支援課からのお知らせ（以下資料16～19）については、全学ウェブサイトにも同様の資料掲載がありますのでご確認ください。

- ▶ 1. 配布物一覧表（配布） 
- ▶ 2. 都市科学部履修案内（配布） 
- ▶ ※別紙「英語関連科目」（都市社会共生学科のみ）（配布） 
- ▶ 3. 都市科学部時間割表 
- ▶ 4. 別紙「グローバル教育科目の扱いについて」（配布） 
- ▶ 5. 全学教育科目履修案内（配布） 
- ▶ 6. 全学教育科目時間割表（配布） 
- ▶ 7. 英語プレイスメントテストについて  
※中止
- ▶ 8. 情報基盤センタークイックガイド（配布）  
※学生証と共に郵送済み
- ▶ ※【新入留学生向け】日本語プレイスメントテストについて（学内サイトへ） 
- ▶ 9. マルウェア Check Day 
- ▶ 10. 令和2年度春学期履修登録期間について(更新)   
※資料を追加しました



※こちらの画像は昨年のページのものです



## (2) 履修に関する資料

大学のカリキュラムは、

**全学教育科目**と**学部教育科目**の2つから構成されます。

全学教育科目

学部教育科目

大学のカリキュラム

### ● 全学教育科目

語学や人文社会科学、自然科学の幅広い分野について、  
すべての学部の学生が共に学ぶ科目群

### ● 学部教育科目

所属する学部・学科の専門分野に関する科目群



## (2) 履修に関する資料

### 全学教育科目

#### ▶ 「全学教育科目履修案内」

毎年配布します。全学教育科目の履修方法について説明したものです。

#### ▶ 「全学教育科目時間割表」

毎年配布します。全学教育科目の時間割をまとめたものです。

※ 履修案内の内容を訂正・変更する場合は、  
掲示でお知らせします。



## (2) 履修に関する資料

### 学部教育科目

#### ▶ 「都市科学部履修案内」※

授業科目や履修方法，そして卒業に必要な単位数の基準などについて説明したものです。

入学年度によってカリキュラムが異なりますので、

**※入学時に配布されたものを4年間大切に使用してください。**

#### ▶ 「都市科学部時間割表」

**毎年配布**します。冊子は配布しないので、令和3年度都市科学部オリエンテーション資料ページからダウンロードしてください。



# (3) 卒業に必要な単位を確認しよう

## Ⅱ. 履修基準等

### 1. 履修基準表

卒業に必要な単位数を表す履修基準は以下のとおりである。

	基礎科目		グローバル 教育科目	イノベーション 教育科目	健康 スポーツ 科目	外国語科目	全学教育 科目合計
	人文 社会系	自然 科学系					
都市社会共生学科	4以上 (注1)	4以上	選択	選択 (0 以上 2 以下)	英語科目 6 以上 初修外国語科目 4 以上 計 12 以上(注4・注5)	30	
建築学科							
都市基盤学科							
環境リスク共生学科							
全学科共通	高度全学教育指定科目から 3 年次以降に 4 以上(注2)						

(注1) 都市基盤学科、環境リスク共生学科の私費外国人留学生(YGEP-N2)においては、日本事情科目を基礎科目(人文社会系科目)に代替できる。

(注2) 高度全学教育指定科目として3年次以降に学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から4単位以上を履修すること。

(注3) 外国人留学生においては、日本語科目を外国語科目に代替できる。

(注4) 外国語科目計12単位(都市社会共生学科)又は、10単位(都市社会共生学科以外)のうち2単位までは、学科の指定した英語による授業科目で算入することができる。

(注5) 初修外国語は原則、実習1と実習2がセットにならないと卒業に必要な外国語の単位には算入されない。詳細は全学教育科目履修案内を参照すること。

「都市科学部履修案内」

> p8 Ⅱ. 履修基準等

### 1. 履修基準表

上の表 = 全学教育科目

下の表 = 学部教育科目 (+ 総計)

それぞれ卒業までに  
必要な単位数を  
確認しましょう

基礎 演習 科目	リテ ラシ ー科 目	学部共通科目 (基幹知科目)				専門基礎 科目	専門 科目	学部教育 科目合計	総計  (全学教育科目と 学部教育科目の 合計)		
		都市 科学 の基 礎	グロー バル・ロ ーカル 関連	リスク共 生関連	イノベーシ ョン関連						
都市社会共生 学科	1		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	5	74以上	94	124
建築学科	3		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	12以上	63以上	94	124
都市基盤学科	1 以上	2	14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	14以上	63以上	94	124
環境リスク共生 学科	3		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	17以上	60以上	94	124

・学部共通科目の「グローバル・ローカル関連」、「リスク共生関連」、「イノベーション関連」の欄は、単位数ではなく科目数であることに注意すること。

・都市社会共生学科は、学部教育科目のうち2単位以上は、各年度に指定する英語関連科目を修得すること。

・建築学科・都市基盤学科・環境リスク共生学科は、学部教育科目のうち2単位以上は、英語関連科目を修得すること。

・必ず各学科のページでも詳細を確認すること。



# (3) 卒業に必要な単位を確認しよう

## I. 授業科目履修に関する事項

### 1. 履修基準（卒業要件）

都市社会共生学科を卒業するためには、次の諸条件を満たさなくてはなりません。

- (1) 下記の履修基準表に示す授業科目区分ごとに定められた単位数以上を修得し、合計で 124 単位以上を修得すること。
- (2) 卒業に必要な単位数の GPA が 2.0 以上であること。
- (3) 卒業研究の成果を提出し、審査に合格すること。

履修基準表（都市社会共生学科で修得すべき単位数一覧）

授業科目区分			修得すべき単位数		
全学 教育 科目	基礎科目	人文社会系科目	4 以上(※2)		30 以上
		自然科学系科目	4 以上(※2)		
	グローバル教育科目		選択(※2)		
	イノベーション教育科目		選択(※2)		
	健康スポーツ科目		0～2(※3)		
	外国語科目	英語科目	6 以上	12 以上	
初修外国語科目		4 以上			
学部 教育 科目 (※1)	学部共通科目 (基幹知科目)	都市科学の基礎	3	14 以上	94 以上
		グローバル・ローカル関連	(2 科目以上)		
		リスク共生関連	(2 科目以上)		
		イノベーション関連	(2 科目以上)		
	人文社会科学基礎演習		1		
	専門基礎科目		5		
	スタジオ科目		24		
	卒業研究関連科目		8		
	コモンズ科目		24		
	演習科目（ローカル／グローバル科目）		14 以上	18 以上	
関連科目・インターンシップ科目 ・その他の科目		0～4			
					124 以上

高度全学教育  
指定科目から  
4 以上(※2)

## 「都市科学部履修案内」

所属する学科ごとの  
履修基準（卒業要件）  
も確認しましょう

都市社会共生学科  
ページA1~  
建築学科  
ページB1~  
都市基盤学科  
ページC1~  
環境リスク共生学科  
ページD1~

※ 1 学部教育科目のうち 2 単位以上は、各年度に学科の指定する英語関連科目を修得すること。

※ 2 高度全学教育指定科目として 3 年次以降に本学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から 4 単位以上を履修すること。

※ 3 2 単位まで卒業に必要な単位として参入可能

※ 4 外国人留学生においては、日本語科目を外国語科目に代替できる。



## (4) 全学教育科目履修上の注意

「全学教育科目履修案内」p15,30参照

卒業に必要な外国語の単位・・・英語科目

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
	演習 2 単位		初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科	実習 4 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位	10 単位
都市基盤学科	演習 2 単位		初修外国語実習 2 単位	
環境リスク共生学科			(別言語でも可)	

英語演習 (1科目 2 単位 英語演習1a,英語演習1b,英語演習1cなど)

- 2 年次以降に履修
- 履修条件 TOEFL-ITP450 点以上

**= TOEFL-ITP450 点以上のスコアを  
取得できないと卒業ができません！！**

※入学時のプレイスメントテストと1年次秋セメスター末の英語統一テストとして、  
合計 2 回TOEFL-ITP を受験します。  
加えて希望すれば、TOEFL-ITP 学内実施 (学内・不定期) も受験できます。



## (4) 全学教育科目履修上の注意

「全学教育科目履修案内」p30～参照

卒業に必要な外国語の単位・・・初修外国語科目

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位 初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	10 単位

- 初修外国語は**同じ言語で実習 1 と実習 2 をセットで履修**  
する必要あり

例 中国語実習 1 と中国語実習 2 →卒業に必要な外国語 2 単位 ◎

中国語実習 1 のみ取得 (中国語実習 2 を取得しなかった) →×

中国語実習 1 とドイツ語実習 2 の組み合わせ →×

★卒業に必要な外国語の単位としては認められません★

※個別成績表の集計ではセットでの単位数ではなく、個別の単位数となり、  
間違いやすいのでくれぐれも気をつけてください！



## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 卒業に必要な外国語の単位・選択単位(2単位)

	英語科目 必修単位数	初修外国語 必修単位数	選択単位数の履修方法 (いずれかを選択)	外国語科目 合計単位数
都市社会共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 4 単位	英語演習 2 単位	12 単位
			初修外国語演習 2 単位	
			初修外国語実習 2 単位	
建築学科 都市基盤学科 環境リスク共生学科	実習 4 単位 演習 2 単位	実習 2 単位	英語演習 2 単位	10 単位
			初修外国語実習 2 単位 (別言語でも可)	

外国語科目の選択単位数(2単位)は、  
英語科目と初修外国語科目のいずれかから履修するか、

該当の科目について外国語科目として「読み替え申請」をしてください。

読み替えを行う場合は、

**必ず単位取得後に都市科学部学務係へ読み替えの申請が必要**  
ですので、申し出てください。

※申請書(各種様式)のデータは都市科学部電子掲示板(後述します)にあります



## (4) 全学教育科目履修上の注意

### 高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは？

- ▶ 高年次履修システム（高度全学教育指定科目制度）とは、ダイバーシティの視野を広げ、全学部を横断した科目開講により学問の多様性を幅広く修得する制度です。
- ▶ 都市科学部が指定する授業科目を3－4 年次において履修します。
- ▶ 都市科学部では全学科で 4 単位以上の履修が必要です。
- ▶ 指定科目の一覧は **都市科学部履修案内のp.10**を参照してください。
- ▶ 1－2 年次において履修した場合は、高度全学教育指定科目としては扱われませんので注意してください。



## (4) 学部共通科目 (基幹知科目)

都市科学部の学生全員が履修する科目です。

【学部教育科目】2021年度の入学生に適用する履修基準表

(数字は単位数)

	基礎 演習 科目	リテ ラシー 科目	学部共通科目 (基幹知科目)				専門基礎 科目	専門 科目	学部教育 科目合計	総計  (全学教育科目と 学部教育科目の 合計)	
			都市 科学 の基 礎	グロー バル・ロ ーカル 関連	リスク共 生関連	イノベーシ ョン関連					
都市社会共生 学科	1		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	5	74以上	94	124
建築学科	3		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	12以上	63以上	94	124
都市基盤学科	1 以上	2	14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	14以上	63以上	94	124
環境リスク共生 学科	3		14以上	3	2科目 以上	2科目 以上	2科目 以上	17以上	60以上	94	124

・学部共通科目の「グローバル・ローカル関連」、「リスク共生関連」、「イノベーション関連」の欄は、単位数ではなく科目数であることに注意すること。

・都市社会共生学科は、学部教育科目のうち2単位以上は、各年度に指定する英語関連科目を修得すること。

・建築学科・都市基盤学科・環境リスク共生学科は、学部教育科目のうち2単位以上は、英語関連科目を修得すること。

・必ず各学科のページでも詳細を確認すること。



## (4) 学部共通科目（基幹知科目）

- ▶ 都市科学部は各専門分野の学びとともに、大都市をフィールドとして都市科学の基本的な素養である以下の①～③について学び、また、都市を科学的、客観的に扱うための基本的な知識や技術、コミュニケーション力、問題解決能力などの実践力を養成する科目群です。

①「グローバルとローカルのつながり（グローバル・ローカル）」

②「リスク共生の考え方（リスク共生）」

③「3層のイノベーション（イノベーション）」

「都市科学部**履修案内**」9ページに科目の一覧があります。

文理融合学部の利点をいかして、積極的に他分野の科目を履修してください。



## (5) 時間割の組み方

「都市科学部**時間割表**」は都市科学部の学部教育科目を中心に時間割を記載しています。

今年度に履修する授業科目は、「**全学教育科目時間割表**」とあわせて、自分の時間割を決めてください。

※ 時間割表には、配当年次が**2年次以降の科目**も今後の履修計画を立てる上での参考として掲載していますが、**曜日・時限は今後変更される場合があります。**

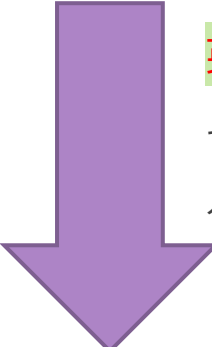
！来年度の時間割は  
来年度版の時間割表であらためて  
確認してください！





## (5) 時間割の組み方

STEP1 配当年次が「**1年次**」の**必修科目**を配置します



英語や初修外国語は学科ごとに開講時間帯が決まっているので、その時間帯に履修します。

クラス分けについては別途掲示があります。

STEP2

空いている時間帯に**その他の全学教育科目**や学部教育科目で配当年次が**1年生になっている科目**を配置します

※WEBシラバス検索（学務情報システム）で、授業内容の詳細を調べることができます。

※半期ごとに履修登録できる単位数の上限が、各学科・学年ごとに定められていますので、詳細は履修案内を確認してください。



## (6) 授業支援システムと 学務情報システム

授業支援システム（LMS）では、

各授業担当教員からのお知らせを受け取ったり、

配布資料の確認やレポート課題の提出等ができます。

### ●授業支援システム

<https://lms.ynu.ac.jp/>



## (6) 授業支援システムと 学務情報システム

### 学務情報システム

では、

**履修登録**・成績閲覧、シラバス検索を行うことができます。

### ●学務情報システム

[https://www.ynu.ac.jp/campus/student\\_only/affairs\\_system.html](https://www.ynu.ac.jp/campus/student_only/affairs_system.html)

ようこそ

横浜国立大学 学務情報システムへ

情報基盤センターの  
ユーザID・パスワードを  
入力してください。

ID

パスワード

ログイン



## (6) 授業支援システムと 学務情報システム

★いずれの利用も、YNUログインIDが必要です★

オリエンテーション配布資料の

- 情報基盤センタークイックガイド
  - 学内ICTサービス利用時のユーザIDと初期パスワードについて
- を参照しながら、YNUログインIDやYNUメールが利用できるように設定をしてください。

※学外からのYNUネットワーク接続（Matrix認証など）に関しては  
情報基盤センターのウェブサイトを参考にしてください

<https://www.itsc.ynu.ac.jp/>



## (7) 授業支援システムで仮登録をする

授業支援システム (LMS)



仮 登 録

- ▶ 期間：春学期開講日（4月7日（金））～
- ▶ 単位取得を考えている科目は全て

**授業開始日の前日までにLMS上にて「利用仮登録」**

してください。

- ▶ 各授業担当教員からの授業に関する大事な伝達は主に授業支援システムで行われます（※シラバス等に別途記載がある場合は、その指示に従うこと）。

※後述しますが、単位取得（成績表に成績評価をもらう）ためには、仮登録だけでなく、

**別途「学務情報システム」にて「履修登録」の作業も必要**

になります。



## (7) 授業支援システムで仮登録をする

授業支援システム (LMS)



仮 登 録

### ▶ 仮登録の方法：

- ① LMSにログイン
- ② 「講義一覧」 右端の “▷利用仮登録” をクリック
- ③ 右端の “▷検索条件変更” をクリック
- ④ 検索条件設定画面にて、履修を考えている講義名などで検索
- ⑤ 左端のチェックボックスに☑して、登録ボタンを押す

情報基盤センターウェブサイト▷[授業支援システム 利用仮登録](#)

[https://www.itsc.ynu.ac.jp/internal\\_class/class\\_startup.html](https://www.itsc.ynu.ac.jp/internal_class/class_startup.html)

- ▶ 「仮登録」は初回授業日以降でも行うことができますが、履修者が多い場合は抽選等の受講調整を行うことがあります。この場合は初回授業に出席した学生が抽選の対象になります。



## (8) 学務情報システムで 履修登録をする

学務情報システム



履修登録

- ▶ 期間：4月7日（金）～ 4月20日（木）
- ▶ 学務情報システムにログインして、履修登録を行ってください。履修登録を行わない科目は成績がつかず、単位も取得できません。
- ▶ 例年、第1タームの科目は登録したのに、第2タームの科目を登録しないままで単位を取得できなかった学生がいます。履修登録期間終了後に時間割を印刷し、すべて記載されているか必ず確認してください。不足があった場合は訂正期間に登録を行ってください。
- ▶ くれぐれも授業支援システムの仮登録と混同しないよう、注意してください。



## (9) 全般的な留意事項

- ▶ 試験における不正行為（カンニング）、卒論・レポートの剽窃は懲戒（退学・停学・訓告）の対象となります。
- ▶ 20歳未満の飲酒・喫煙は、懲戒の対象となります。
- ▶ YNUメール、都市科学部電子掲示板、授業支援システム、学務情報システムは毎日確認してください。
- ▶ 大学（教職員）への連絡は必ずYNUメールアドレスを使用し、プライベートで使用するメールアドレス（フリーメールや他のプロバイダからのアドレス）からは送らないでください。

※YNUメール以外のドメインからメールをもらっても、YNUメールから再度送るよう返信するだけで、問い合わせ内容には回答できません。





# (9) 全般的な留意事項

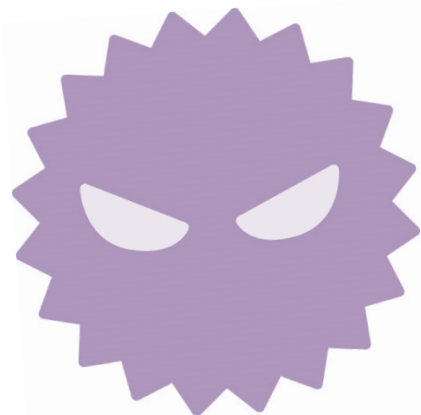
## > YNU-Wi-Fi利用上の注意

- ▶ 大学のWifi（YNU-Wifi）が使用可能です。
- ▶ 遠隔授業との併用にあたり、YNU-Wi-Fiの増強を行いました。が、限りはございますので、全学生が快適に通信が行えるよう、以下の点にご留意ください。
  - ・ 利用しない機器はこまめにYNU-Wi-Fiの接続を切る
  - ・ Webサイトも極力複数ページを立ち上げない



## (9) 全般的な留意事項

- ▶ セキュリティ対策が未実施のまま学内のWifiに接続するとインシデントとなり、ウィルスチェックやアプリの削除依頼などの調査を行います。
- ▶ 何度もインシデントを起こすとアカウントが停止となるため、怪しいWEBページの閲覧や、不審なアプリケーションのダウンロードは行わないでください。
- ▶ 本学ではセキュリティ対策ソフトとして、トレンドマイクロ社の Apex One (旧 ウィルスバスター) を無償で提供しているので、必ずウィルスバスターをインストールし、常に最新状態を維持し、更に定期的な検索 (フルスキャン) を実施してください。



# (10) その他

- ▶ 学生生活に関する情報は大学ウェブサイトに掲載されている「学生便覧」を確認してください。



> YNU教育

> 学生生活 学生便覧

> 学生生活ガイドブック

<https://www.ynu.ac.jp/campus/guide/handbook/>

※こちらの画像は去年のページのものです



# (11) その他

- ▶ 障がい学生支援室では、障がいのある学生が、障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれるキャンパスサポーターを募集しています。具体的には、聴覚障がいの学生さんの横について、講義の内容を書き取るノートテイクや、パソコンでタイプするPCテイク、肢体不自由の学生さんの介助をしたりすることが、支援内容になります。詳細は「キャンパス・サポーター（障がい学生支援）の募集について」の資料を確認してください。

## ▼ 障がい学生支援室ウェブサイト ▼

<https://www.shougai-support.ynu.ac.jp/campus/>

オンライン登録用QRコード

**キャンパス・サポーター  
(障がい学生支援) 募集**

障がいのある学生が障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれる学生を募集しています。

**支援活動の例**  
通隔授業期間中の支援  
・動画の字幕作成  
・音声の文字化システム誤変換の修正  
・パソコンテイク ・手話通訳  
・教材のテキストデータ化  
・音声データの文字おこし など

支援活動には、謝金をお支払いします。

キャンパス・サポーター登録後、支援を行うことになった場合には、バリアフリー推進部門長から委嘱状が交付されます。

興味・関心のある方は障がい学生支援室までお気軽にお問い合わせください。

障がい学生支援室 045-339-3118 / shougai.shien@ynu.ac.jp / 学生センター2階③番窓口

キャンパス・サポーターへの登録は、右上のQRコードを読み取り、オンラインにてお申込みください。キャンパス・サポーターにご登録いただきますと、募集がある度に支援募集メールが届きます。令和2年度は原則としてすべてご自宅で行える支援です。ご自分の授業予定にあわせて、活動可能な募集がありましたらご応募ください。

支援を受けている学生からの声  
音声の自動文字変換の誤修正はサポーターがほとんど修正してくれるので、大変読みやすかった / 動画の字幕はよく理解できたのでありがたかった

キャンパス・サポーターからの声  
障がいについて知り、考えるきっかけになった / 通隔授業期間中でも自宅での役に立てた / 就活で支援の話をされる機会があった

支援活動を行う前に、傷害保険、賠償責任保険に必ず加入してください。



# (11) その他

- ▶ 特に注意していただきたいのは、  
通学時のマナーとゴミだしのマナーです。

資料「最寄駅からの通学路について」、と  
「ごみと資源物の分け方・出し方」を必ず確認してください。

- ▶ 通学時のマナーについて近隣の方々から、  
「学生さん達の声が響く」、「横一杯に通りをふさいで歩いている」  
などの声が寄せられております。

皆さんには、社会常識として、普段の生活においても、

**住宅街を通るときは静かに歩くなど、マナーを守って通学するようお願いいたします。**

- ▶ この他にゴミ出しのマナーなどについてもよく読んで、  
周囲へ配慮する気持ちを持つようお願いいたします。

**一人の横浜国立大生の悪い振る舞いが、横浜国立大生全体のイメージを損ないます。**

皆さん一人一人は、地域を構成する倫理観ある一市民であることも忘れないでください。



## (11) その他

- ▶ 学務係からのお知らせは掲示板等を確認してください。
- 都市科学部掲示板→学生センター横
- 電子掲示板

[https://www.cus.ynu.ac.jp/education/bulletin\\_board/](https://www.cus.ynu.ac.jp/education/bulletin_board/)

- 授業支援システム

【連絡専用】 都市科学部学務係



## (12) 問い合わせ

- ▶ 不明な点があれば、都市科学部学務係へメールで問い合わせてください。
- ▶ 必ずYNUメールから問い合わせてください。
- ▶ メール本文に氏名、学籍番号を明記すること。

**都市科学部学務係**

**cus.jimu@ynu.ac.jp**

